

国立劇場 国立演芸場 国立能楽堂 国立文楽劇場 伝統芸能情報館
国立劇場おきなわ 新国立劇場 芸術文化振興基金

PICK UP

東京 国立劇場 (大劇場)

初春歌舞伎公演

遠山桜天保日記

1月3日(火)~27日(金)※11日(水)・19日(木)は休演
12時開演 ※13日(金)は16時30分開演

料金 12,000円(1等席)・8,000円(2等席)・3,500円(3等席)



初代国立劇場 さよなら公演 好評発売中

竹楽其水=作
尾上菊五郎=監修
国立劇場文芸研究会=補綴

とおやまざくらてんぽうにつ き
狂言 遠山桜天保日記 六幕十一場
一歌舞伎の恩人・遠山の金さん—
国立劇場美術係=美術

序幕	第一場	河原崎座楽屋の場
	第二場	花川戸稽古所の場
	第三場	隅田川三田堤の場
二幕目		安房国山中の場
三幕目	第一場	花川戸須之崎政五郎内の場
	第二場	山の宿花屋の場
	第三場	大川橋六地藏河岸の場
四幕目	第一場	新潟行形亭座敷の場
	第二場	同 庭先の場
五幕目		北町奉行所白洲の場
大詰		河原崎座初芝居の場

【出演】

尾上 菊五郎
中村 時蔵
尾上 松緑
尾上 菊之助
坂東 彦三郎
坂東 亀蔵
中村 梅枝
中村 萬太郎
市村 竹松
尾上 右近
市村 光
尾上 左近
坂東 亀三郎
尾上 丑之助
寺嶋 眞秀
小川 大晴
市村 橋太郎
片岡 亀蔵
河原崎 権十郎
市村 萬次郎
坂東 楽善次
市川 左團次
ほか



初代国立劇場最後の初春歌舞伎公演は名奉行「遠山の金さん」が登場！

旗本ながら芝居小屋に身を置いた遠山金四郎が町奉行となって活躍。印象的な悪党を絡め、遠山が名裁きを下すまで多彩な登場人物と物語を繰り広げます。

菊五郎の金四郎ほか魅力的な配役で、年の初めに痛快な娯楽作品をお楽しみ下さい。

※主な配役は公演ホームページまたはチラシをご参照ください。
※タイムテーブルは公演ホームページをご参照ください。

大阪 国立文楽劇場

初春文楽公演

1月3日(火)~25日(水)※13日(金)は休演

料金 5,500円(1等席)・3,500円(2等席)

好評発売中

第1部 11時開演 (13時30分終了予定)

良弁僧正千二百五十年御遠忌

良弁杉由來

志賀の里の段・桜の宮物狂いの段・東大寺の段・二月堂の段

第2部 14時開演 (16時55分終了予定)

よしつねせんぼんざくら

義経千本桜

椎の木の段・小金吾討死の段・すしやの段

第3部 17時30分開演 (20時終了予定)

けいせいこいびきやく

傾城恋飛脚

新口村の段

だんのうらかぶとぐんき

壇浦兜軍記

阿古屋琴責の段



東京 国立演芸場

第526回 花形演芸会

1月21日(土)13時開演 (16時終了予定)

料金 2,100円

好評発売中



初代国立演芸場 さよなら公演

落語 「釜泥」
立川 志の太郎

ギター漫談 トニーフランク

上方落語 「金明竹」
桂 福丸

落語 「寝るしか取り柄がないくせに」

瀧川 鯉八

一仲入り—

落語 (ゲスト)
三遊亭 歌奴

漫才 母心

落語 「不動坊」
入船亭 扇橋



チケットお申込み

国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場

☎ 0570-07-9900/03-3230-3000 [一部IP電話等](10時~18時)*

国立劇場チケットセンター 検索

新国立劇場

☎ 03-5352-9999 (10時~18時)*

新国立劇場 検索

国立劇場おきなわ

☎ 098-871-3350 (10時~17時30分)*

国立劇場おきなわチケットカウンター 検索

※学生・障害者等、各種割引あり。詳しくは各劇場にお問合せください。本誌掲載の公演チケット料金は、すべて税込みです。
*年末年始の営業については各劇場ホームページをご確認ください。

東京		大阪	
1月		1月	
大劇場	小劇場	文楽劇場	小ホール
1日			
2月			
3火	12:00		
4水	12:00		
5木	12:00		
6金	12:00		
7土	12:00		
8日	12:00		
9月	12:00		
10火	12:00		
11水	休演日		
12木	12:00		
13金	16:30		
14土	12:00		
15日	12:00		
16月	12:00		
17火	12:00		
18水	12:00		
19木	休演日		
20金	12:00		
21土	12:00		
22日	12:00		
23月	12:00		
24火	12:00		
25水	12:00		
26木	12:00		
27金	12:00		
28土	16:30		
29日	邦楽の祭典in東京		
30月			
31火			

東京		大阪	
1月		1月	
オペラバレス	中劇場	文楽劇場	小ホール
1日	14:00		
2月			
3火	14:00		
4水			
5木			
6金			
7土			
8日			
9月			
10火			
11水			
12木			
13金	19:00		
14土	13:00		
15日	14:00		
16月			
17火			
18水			
19木			
20金			
21土			
22日			
23月			
24火			
25水			
26木			
27金	14:00		
28土	14:00		
29日	休演日		
30月	休演日		
31火	14:00		

東京		大阪	
1月		1月	
オペラバレス	中劇場	文楽劇場	小ホール
1日	14:00		
2月			
3火	14:00		
4水			
5木			
6金			
7土			
8日			
9月			
10火			
11水			
12木			
13金	19:00		
14土	13:00		
15日	14:00		
16月			
17火			
18水			
19木			
20金			
21土			
22日			
23月			
24火			
25水			
26木			
27金			
28土	14:00		
29日	休演日		
30月	休演日		
31火	14:00		

東京		大阪	
1月		1月	
オペラバレス	中劇場	文楽劇場	小ホール
1日	14:00		
2月			
3火	14:00		
4水			
5木			
6金			
7土			
8日			
9月			
10火			
11水			
12木			
13金	19:00		
14土	13:00		
15日	14:00		
16月			
17火			
18水			
19木			
20金			
21土			
22日			
23月			
24火			
25水			
26木			
27金			
28土	14:00		
29日	休演日		
30月	休演日		
31火	14:00		

東京		大阪	
1月		1月	
オペラバレス	中劇場	文楽劇場	小ホール
1日	14:00		
2月			
3火	14:00		
4水			
5木			
6金			
7土			
8日			
9月			
10火			
11水			
12木			
13金	19:00		
14土	13:00		
15日	14:00		
16月			
17火			
18水			
19木			
20金			
21土			
22日			
23月			
24火			
25水			
26木			
27金			
28土	14:00		
29日	休演日		
30月	休演日		
31火	14:00		

東京		大阪	
1月		1月	
オペラバレス	中劇場	文楽劇場	小ホール
1日	14:00		
2月			
3火	14:00		
4水			
5木			
6金			
7土			
8日			
9月			
10火			
11水			
12木			
13金	19:00		
14土	13:00		
15日	14:00		
16月			
17火			
18水			
19木			
20金			
21土			
22日			
23月			
24火			
25水			
26木			
27金			
28土	14:00		
29日	休演日		
30月	休演日		
31火	14:00		

今月・来月の注目はこちら

PICK UP

国立劇場

「邦楽名曲選Ⅱ 鎌倉～安土桃山」

1月14日(土)14時開演 (17時20分終演予定)

1月邦楽公演 **好評発売中**

料金 両日とも5,000円

「邦楽名曲選Ⅲ 江戸～明治」

1月28日(土)16時30分開演 (19時20分終演予定)

国立能楽堂

2月 国立能楽堂

定例公演 2月15日(水)13時開演 (15時15分終演予定)

【子盗人】大蔵彌右衛門(大蔵流) 【項羽】浅見重好(親世流)

【子盗人】泥棒に入ったはずの男でしたが、そこにいた赤子があまりにかわいらしく目的を忘れてあやし始め…

【項羽】草刈男に虞美人草の由来を説く老人は楚の大将・項羽の霊でした。項羽は活躍華やかになりし頭を偲びつつも、妃・虞氏との非情な別れや、漢の高祖との戦のさまを劇的に再現して見せます。

関連絵画＝安田敏彦「項羽」

料金 正面5,000円/脇正面3,300円/中正面3,000円

販売開始 《電話・Web》1月10日(火)10時/《窓口》1月11日(水)10時

—国立能楽堂は、令和5年9月に開場40周年を迎えます—

新国立劇場

オペラ

リヒャルト・ワーグナー作曲「タンホイザー」 **好評発売中**

1月28日(土)・31日(火)・2月4日(土)・8日(水)・11日(土・祝) 14時開演 (※2月8日は17時開演)

【指揮】アレホ・ベレス 【演出】ハンス＝ペーター・レーマン

中世のタンホイザー伝説とヴァルトブルクの歌合戦伝説に題材を取った、ワーグナー中期の人気作。幻想と現実を効果的に行き来する美しい舞台が好評を博したレーマン演出のプロダクションで、オペラならではのスペクタクルの詰まった祝祭的作品をどうぞお楽しみください。

料金 S席27,500円/A席22,000円/B席15,400円/C席8,800円/D席5,500円/Z席(当日のみ)1,650円

国立能楽堂

2月 国立能楽堂

定例公演 2月15日(水)13時開演 (15時15分終演予定)

《月間特集・近代絵画と能》

【子盗人】大蔵彌右衛門(大蔵流) 【項羽】浅見重好(親世流)

【子盗人】泥棒に入ったはずの男でしたが、そこにいた赤子があまりにかわいらしく目的を忘れてあやし始め…

【項羽】草刈男に虞美人草の由来を説く老人は楚の大将・項羽の霊でした。項羽は活躍華やかになりし頭を偲びつつも、妃・虞氏との非情な別れや、漢の高祖との戦のさまを劇的に再現して見せます。

関連絵画＝安田敏彦「項羽」

料金 正面5,000円/脇正面3,300円/中正面3,000円

販売開始 《電話・Web》1月10日(火)10時/《窓口》1月11日(水)10時

—国立能楽堂は、令和5年9月に開場40周年を迎えます—

新国立劇場

オペラ

リヒャルト・ワーグナー作曲「タンホイザー」 **好評発売中**

1月28日(土)・31日(火)・2月4日(土)・8日(水)・11日(土・祝) 14時開演 (※2月8日は17時開演)

【指揮】アレホ・ベレス 【演出】ハンス＝ペーター・レーマン

中世のタンホイザー伝説とヴァルトブルクの歌合戦伝説に題材を取った、ワーグナー中期の人気作。幻想と現実を効果的に行き来する美しい舞台が好評を博したレーマン演出のプロダクションで、オペラならではのスペクタクルの詰まった祝祭的作品をどうぞお楽しみください。

料金 S席27,500円/A席22,000円/B席15,400円/C席8,800円/D席5,500円/Z席(当日のみ)1,650円

国立劇場おきなわ

琉球舞踊公演

「琉球舞踊特選会」 **好評発売中**

1月14日(土)・15日(日)14時開演

毎年恒例となっている本公演は、国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者が至高の技芸を披露する公演として好評を博しています。今回は、2017(平成29)年の第2次認定保持者と、2022(令和4)年の第3次認定保持者による一人舞を、二日間におわりにたっぷりとお堪能いただけます。また、第3次認定保持者による古典音楽斉唱で、両日ともに華々しく幕を開けます。

料金 4,200円

国立能楽堂 (1階資料展示室)

12月24日(土)以降、令和4年度中の展示の予定はございません。

特別展「柴田是真と能楽 江戸庶民の視座」(開催：令和4年10月29日～12月23日)の展示図録を好評発売中です。下記の通信販売にてお求め頂けます。

定価：2,750円(税込)

販売：国立劇場売店の文化堂

(Yahoo!ショッピング)

https://store.shopping.yahoo.co.jp/bunkadou/



展示情報

伝統芸能をさらに深く学べます。

伝統芸能情報館(国立劇場敷地内)

「国立劇場所蔵 上方浮世絵展」

開催中・4月9日(日)まで

上方(大阪・京都)では江戸より遅れること約一世紀、18世紀末から独自の浮世絵が制作されるようになっていきました。その歴史は江戸に比べて、役者絵の比率が圧倒的に多いのも特徴の一つでした。江戸とは異なる、まったくとした世界観をお楽しみください。10時～18時(1月18日(水)は20時まで) 開室、1月休室日：1日～2日・29～31日 ☎03-3265-7061(直)

国立演芸場 (1階演芸資料展示室)

「浪曲展 国立劇場所蔵資料にみる」

開催中・3月21日(火・祝)まで

幕末に祭文や説経節、阿茶陀羅経を母胎とし、義太夫、清元、民謡など様々な曲の旋律を加えることによって生まれた浪曲は、演者の個性が尊重される芸能です。今回は国立劇場所蔵の浪曲関連資料を展示するとともに、国立演芸場の公演記録映像も上映し、浪曲の輝かしい歴史を体感します。10時～17時開室、1月休室日：1日・8～10日・22～31日 ☎03-3265-7061(直)

国立文楽劇場 (1階資料展示室)

企画展示「文楽の花鳥風月」

特別展「曾我道家五郎—「喜劇」の誕生—

1月3日(火)～3月12日(日)

文楽の世界に表現された日本の花鳥風月をとおして、日本人の美意識と自然観を再確認する展示です。文楽の衣裳、小道具、舞台写真から、人々が昔から大事にしてきた自然美をご堪能いただけます。また、同時開催として国立演芸場の資料をご紹介します。上方喜劇の礎を築いた近代前期の喜劇王の生涯や業績に触れていただける展示です。どうぞお立ち寄りください。10時～18時開室、12月は開室日なし・1月休室日なし ☎06-6212-2531(代)

国立能楽堂 (1階資料展示室)

12月24日(土)以降、令和4年度中の展示の予定はございません。

特別展「柴田是真と能楽 江戸庶民の視座」(開催：令和4年10月29日～12月23日)の展示図録を好評発売中です。下記の通信販売にてお求め頂けます。

定価：2,750円(税込)

販売：国立劇場売店の文化堂

(Yahoo!ショッピング)

https://store.shopping.yahoo.co.jp/bunkadou/



文化芸術活動に対する援助

独立行政法人日本芸術文化振興会では、芸術文化振興基金の運用益による助成事業と、国からの補助金(文化芸術振興費補助金)を財源とする助成事業を行っています。

今月のTOPICSはこちら



◆基金の目的

「芸術文化振興基金」は、すべての国民が芸術文化に親しみ、自らの手で新しい文化を創造するための環境の醸成とその基盤の強化を図る観点から、芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術の創造又は普及を図るための活動、その他の文化振興又は普及を図る活動に対する援助を継続的・安定的に行います。

当基金は、政府から出資された541億円と民間からの出せん金165億円の計706億円を原資として、その運用益をもって文化芸術活動に対する助成に充てています。

◆助成対象活動の募集

助成対象活動の募集は、毎年度1回(国内映画祭等の活動は年2回)、公募により行います。具体的な募集の時期・方法、助成の対象となる活動等については、毎年度作成する募集案内で示します。

助成金の交付を希望する団体は、募集案内の定めるところにより、助成金交付要望書及び団体概要等を独立行政法人日本芸術文化振興会に提出いただきます。

◆助成対象活動の決定・助成金の交付

芸術文化振興基金運営委員会において応募活動に対する審査を行い、助成対象活動及び助成金の額が決定されます。採択された助成対象活動については、「芸術文化振興基金助成金交付要綱」の定めるところにより、所定の手続きを経て助成金が交付されます。

助成の対象となる活動	電話番号
音楽	03-3265-6338
舞踊	03-3265-6192
演劇	03-3265-6178
伝統芸能・大衆芸能	03-3265-6394
多分野	03-3265-6045
美術の創造普及活動	03-5213-4175
映画	03-3265-6312
地域文化施設公演・展示活動(文化会館公演)	03-5213-4169
地域文化施設公演・展示活動(美術館等展示)	03-5213-4174
アマチュア等の文化団体活動	03-5213-4164 4167
歴史的集落・町並み、文化的景観保存活用活動	03-5213-4172
民俗文化財の保存活用活動	03-5213-4172
伝統工芸技術・文化財保存技術の保存伝承等活動	03-5213-4172
劇場・音楽堂等機能強化推進事業	03-3265-6018

芸術文化振興基金ご支援(寄附)のお願い

芸術文化振興基金は、芸術・文化の振興又は普及を図るための活動に対する援助を継続的、安定的に行うことを目的として設立され、その運用益により、芸術文化団体等の活動に助成しています。皆様のご支援を頂きながら、活動を行っています。

趣旨にご賛同頂き、格段のご協力、ご支援をお願いいたします。

◎第28回 青翔会の様子



平野史夏

平野史夏(専攻:藤田流笛方)
専科での研修が始まってまもなく、御家元で主任講師でもあられた先生が亡くなられたことは、本当に大きな出来事でした。その中で藤田流の先生方が私に熱心にご指導を続けてくださったことがいかに有難いことであつたか、時が経つほどに強く感じております。

研修修了はひとつの節目に過ぎず、修行は続いて参りますが、先生方、養成係の職員の方、支えてきてくださった方々への感謝の気持ちを表す機会としたいと思います。

今回披露させていただく石橋は華やかな演目です。おシテの獅子は文殊菩薩の乗り物であり、その舞は勇壮かつ神秘的です。



寺澤祐佳里

寺澤祐佳里(専攻:幸清流小鼓方)
長いような短いような6年間でしたが、同期の平野さんや師匠をはじめ、周りの方々に励まされて進むことができました。心から感謝申し上げます。研修に入る前の会社員の頃と比べると、日常も何もかもが変わったので未だに不思議な感じですが、修了後、どのような日々が待っているのか見当もつきませんが、一つずつ目の前のことを頑張っていこうと思います。

修了公演の大獅子は、師匠の打っている姿を拝見した時から憧れがありました。青翔会へ披露させていただきます。

研修だより

第10期能楽(三役)研修生ショートインタビュー — 第30回青翔会出演・研修修了に向けて —

今年度で6年間の研修を修了する第10期生。締めくくりとなる令和5年3月の第30回青翔会・研修修了発表会で「石橋」に出演する2人に、今の思いを聞きました。



難しい曲ですが、先生方のご指導を出来る限り吸収し、精一杯務めます。

日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、歌舞伎、文楽、能楽、大衆芸能、組踊の各分野で研修を行っています。

かせていただけるのは、とてもありがたいことと思っております。本当に獅子が吠えているような、迫力のある力ケ声と音を出せるよう努めたいです。

第12期能楽(三役)研修生 応募受付中

国立能楽堂
企画制作課
養成係

☎ 03-3423-1483 (直通)
※10時~18時(土日祝日・年末年始を除く)
✉ kenshu12noh@ntj.jac.go.jp



◀ 詳細・応募書類の様式はこちら!

▶ 研修生募集動画もあわせてご覧ください



★詳しくは国立能楽堂HPをご覧ください。

第10期能楽研修・研修修了発表会 第30回青翔会 2月10日発売!	
舞囃子 高砂(観世流)	角 幸二郎
舞囃子 田村(金春流)	村岡 聖美
舞囃子 半部(宝生流)	金森 良充
舞囃子 融(喜多流)	金子 龍晟
狂言 鞍(大蔵流)	木村 直樹
半能 石橋(観世流)	山階彌右衛門

3月14日(火)13時開演

お正月の国立劇場各館のご案内

平素より日本芸術文化振興会に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。
令和5年もどうぞ変わらぬお引き立てを賜りますようよろしくお願いいたします。

国立劇場大劇場

初春歌舞伎公演は、3日に幕を開けます。初日には出演者による新年のご挨拶、曲芸の披露がございます。
劇場には口上看板や積み樽、大凧などを飾ります。7日までは箏の演奏、獅子舞の披露などで皆様をお迎えいたします。
なお、公演期間中は全日舞台からの手ぬぐい撒きを行います。



国立演芸場

2～7日の新春国立名人会は、正面に繭玉と積み樽を飾って皆様をお迎えます。初笑いはぜひ国立演芸場へお出かけください。

国立能楽堂

年明け最初の公演は7日の定例公演です。ロビーに鏡餅を飾り、舞台上に注連縄を張り、能「竹生島」、狂言「昆布柿」で新年を寿ぎます。

国立文楽劇場

初春文楽公演は、3日に初日を迎えます。3日から7日まで、抽選による手ぬぐいプレゼントがございます。
場内には上方特有の「にらみ鯛」などを飾り、大阪らしい初芝居の雰囲気でお迎えいたします。

国立劇場おきなわ

年明け最初の自主公演は14、15日の「琉球舞踊特選会」です。当日ご鑑賞のお客様の中から抽選で国立劇場おきなわオリジナルグッズが当たるお年玉プレゼントがございます。

新国立劇場

冬の人気演目『くるみ割り人形』を新年元日、2日、3日にも上演いたします。新国立劇場バレエ団の魅力を存分に楽しめる華やかな本作を、年越し、お正月の特別なイベントとして、ぜひご家族でもお楽しみください。

※各館の詳細はホームページにてご確認ください。

講座・動画

伝統芸能情報館の伝統芸能講座と過去の公演記録映像の動画配信（有料・期間限定）のお知らせです。

講座 | 第86回伝統芸能講座 「国立劇場所蔵上方浮世絵の特色とその魅力」

講師 北川博子（甲南女子大学非常勤講師）
日時 2月10日（金）14時～15時30分
会場 伝統芸能情報館3階レクチャー室
受講料 1,000円（税込） **募集人数** 100名（先着順／予約制）

◎応募方法の詳細はホームページまたはこちらから →



動画 | 国立劇場くろごちゃんねる 第13回

演目 座敷舞 山村友五郎編 ※演目選定中
出演 山村友五郎
販売期間 1月21日（土）10時～2月12日（日）23時59分
※視聴期間は、チケットご購入日から2週間です。
視聴料金 1,000円（税込） **配信サイト** MIRAIL（ミレール）

日本芸術文化振興会ニュース 令和5年1月号

令和4年12月20日発行（毎月1回20日発行）
通巻654号（昭和43年5月1日創刊）
発行 独立行政法人日本芸術文化振興会
〒102-8656
東京都千代田区千代田4-1
☎03-3265-7411（代表）
<https://www.ntj.jac.go.jp>
印刷 勝美印刷株式会社

国立劇場・国立演芸場・伝統芸能情報館
〒102-8656 東京都千代田区千代田4-1 ☎03-3265-7411（代表） <https://www.ntj.jac.go.jp/>

国立能楽堂
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 ☎03-3423-1331（代表） <https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>

国立文楽劇場
〒542-0073 大阪府大阪市中央区日本橋1-12-10 ☎06-6212-2531（代表） <https://www.ntj.jac.go.jp/bunraku.html>

新国立劇場
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 ☎03-5351-3011（代表） <https://www.nntt.jac.go.jp/>

国立劇場おきなわ
〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-14-1 ☎098-871-3311（代表） <https://www.nt-okinawa.or.jp/>

■本誌掲載の公演・イベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催を中止・変更する場合がございます。最新の情報は各ホームページ等でご確認をお願いいたします。
■本誌面は日本芸術文化振興会のホームページでもご覧いただけます。

未来へつなぐ国立劇場プロジェクト

国立劇場、国立演芸場、伝統芸能情報館は、再整備のため令和5年10月末に一旦閉場・閉館し、令和11年度に新施設として生まれ変わります。



初代国立劇場さよなら公演・2月公演のご紹介

文楽 「近松名作集」

2月4日（土）～21日（火）

人形浄瑠璃興隆期に活躍した劇作家・近松門左衛門の作品を三作上演します。第一部「心中天網島」第二部「国性爺合戦」第三部「女殺油地獄」と近松の偉大な業績を振り返りながら、名作をご堪能いただける公演です。

予約開始 1月14日（土）〔電話・Web〕
窓口販売開始 1月15日（日）

声明 「比叡山延暦寺の神前法要」

2月25日（土）

開場すぐの第1回声明公演をはじめ、これまで多く取り上げてきた比叡山延暦寺の声明。今回は、年に一度、比叡山の麓にある日吉大社の神前で『法華八講』の法要を行う、「山王礼拝講」を初上演します。

予約開始 1月18日（水）〔電話・Web〕
窓口販売開始 1月19日（木）

※国立演芸場でも「初代国立演芸場さよなら公演」と題して魅力ある舞台をお届けします。

日本博

「日本博」は、総合テーマ「日本人と自然」の下に、日本の美を体感する美術展、舞台芸術公演、芸術祭などを、全国各地で展開しています。

STAND BY フェスティバル

会期 12月24日（土）～25日（日）

会場 クリエイティブセンター大阪（大阪市）

「音楽を通じて、つながりを取り戻し、一緒にいる（stand by）ことを感じる機会に」をテーマに、障害の有無の枠を越えた音楽イベント。



VRで魅せる専修寺の絵画・彫刻が放つ 浄土世界の美のオーラ

会期 1月9日（月・祝）～2月16日（木）

会場 真宗高田派本山 専修寺（三重県津市）

専修寺の如来堂と御影堂を飾る絵画や彫刻の美を3Dデジタル技術やVR技術により間近に鑑賞し、バーチャル浄土世界を体感できるプロジェクトです。

360度映像空間で体感するVR映像の圧倒的没入感▶



やんばるアートフェスティバル2022-2023

会期 1月14日（土）～4月9日（日）

会場 沖縄県北部地域（通称：やんばる）

世界自然遺産の沖縄県本島北部地域で開催する地域芸術祭。アート作品の展示や、伝統工芸の展示販売を軸に「やんばる」の魅力を世界へ発信します。



ご寄附のお願い

あなたも日本の文化芸術を支える（立役者）になりませんか。

●文化芸術復興創造基金

日本の多彩な文化芸術団体の活動を支援します。
「舞台芸術・美術等」「地域文化」「文化財」「映画芸術」を応援できます。

お問合せ 基金部企画調査課

TEL 03-3265-6302（平日10時～18時）

メール kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp



復興創造基金のご案内ページはこちら！

●くろごちゃんファンド（国立劇場基金）

日本の伝統芸能を未来へつなぐ、国立劇場各館を応援！
様々な伝統芸能公演や、伝承者の養成、調査研究等の充実に支援できます。

お問合せ くろごちゃんファンド寄附担当

TEL 03-3265-6719（平日10時～18時）

メール donation@ntj.jac.go.jp



くろごちゃんファンドのご案内ページはこちら！